

作成日 2003年10月28日
改訂日 2020年1月15日

製品安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	植物用蛋白変成試薬A
製品コード	SR-1050
SDS整理番号	SR-1050_JP-1.1
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-30 クラボウ先進技術センター2F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	バイオメディカル部 072-820-3079
推奨用途及び使用上の制限	核酸自動分離装置用試薬、研究専用

2. 危険有害性の要約

GHS分類	
健康に対する有害性	急性毒性(経皮) 区分 3 皮膚腐食性/刺激性 区分 2 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 1(中枢神経系) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 2(肝臓)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性) 区分 2
(注)記載なきGHS分類区分:該当せず/分類対象外/区分外/分類できない	

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報
皮膚に接触すると有毒
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
臓器の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
水生生物に毒性

注意書き
【安全対策】 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱後は手などよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】 皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師に連絡する事。
直ちに医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣服を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】 施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

成分名	濃度又は濃度範囲 (wt.%) *	CAS番号	化審法番号
ラウリル硫酸ナトリウム	5-15	151-21-3	2-1679
N-ラウロイルサルコシンナトリウム	5-15	137-16-6	2-1226
EDTA2Na	0-1	6381-92-6	2-1265

*これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

化管法「指定化学物質」該当成分 ラウリル硫酸ナトリウム

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	周辺設備に適した消火剤を使用する。
消火を行う者の保護	消火作業では、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	回収が終わるまで十分な換気を行う。 換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化方法・機材	漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策 安全取扱い注意事項	ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 保護手袋又は保護衣を着用すること。 保護手袋を着用すること。 保護眼鏡/保護面を着用すること。
	衛生対策	取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
配合禁忌等、安全な保管条件 適切な保管条件		換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 涼しいところに置き、日光から遮断すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度、管理濃度（職業ばく露限界値、生物学的ばく露指標）		管理濃度データなし 日本産衛学会関連許容濃度データなし ACGIH 許容濃度データなし
設備対策		排気/換気設備を設ける。 洗眼設備を設ける。 手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体 [＊] の保護具	換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。 保護手袋を着用する。推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状態	形状	液体
	色	無色
臭い		無臭
pH		8.0
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
引火点		適用外(不燃性)
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		情報なし
燃焼性(固体、ガス)		情報なし
蒸気圧		情報なし
蒸気密度(空気=1)		情報なし
比重(密度)		情報なし
溶解度		水:溶ける
n-オクタノール・水分配係数		情報なし
自然発火温度		情報なし
分解温度		情報なし
粘度(粘性率)		情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性および化学的安定性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	凍結。直射日光を避ける。
混触危険物質	データなし

11. 有害性情報

混合物としての有害性情報

急性毒性(経口)	(ラウリル硫酸ナトリウム) rat LD50=1200 mg/kg (SIDS, 2009)
急性毒性(経皮)	(ラウリル硫酸ナトリウム) rabbit LD50=ca. 200 mg/kg (SIDS, 2009)
局所効果 皮膚腐食性・刺激性	(ラウリル硫酸ナトリウム) ラビット 中等度から強度の刺激性 (SIDS, 2009)
眼に対する重篤な損傷・刺激性	(ラウリル硫酸ナトリウム) ラビット 非可逆的な影響 (SIDS, 2009)
感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
催奇形性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)	[区分1] (ラウリル硫酸ナトリウム) 中枢神経系 (SIDS, 2009) [区分2] (ラウリル硫酸ナトリウム) 肝臓 (EHC 169, 1996)
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

混合物としての環境影響情報

生態毒性	水生毒性(急性) (ラウリル硫酸ナトリウム) 甲殻類(アカルチア) EC50/LC50 = 0.12 mg/L/96hr (SIDS, 2009) 水生毒性(長期間) (ラウリル硫酸ナトリウム) 甲殻類(ネコゼミジンコ) NOEC(繁殖) = 0.88 mg/L/7 days (SIDS, 2009)
水溶解度	(ラウリル硫酸ナトリウム) 溶ける (15 g/100 ml, 20 °C (ICSC, 1997))
残留性・分解性	(ラウリル硫酸ナトリウム) 急速分解性あり (BOD分解度=85.0%/14 days; TOC分解度=99.3%/14 days (J-CHECK 2016))
生体蓄積性	(ラウリル硫酸ナトリウム) log Kow = 1.6 (PHYSPROP Database, 2008)
土壤中の移動性	データなし
オゾン層破壊物質	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物・汚染容器及び包装	環境への放出を避けること。 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
----------------	--

14. 輸送上の注意

国際規則		
	国連分類	該当しない
	国連番号	該当しない
国内規制		
海上規制情報		
	船舶安全法	該当しない
航空規制情報		
	航空法	該当しない
陸上規制情報		
	消防法	該当しない
	毒物および劇物取締法	該当しない

15. 適用法令

化審法	該当しない
労働安全衛生法	有機溶剤等に該当しない製品
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第1種指定化学物質 ラウリル硫酸ナトリウム(10%)(1-275)
毒物および劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない

16. その他の情報

参考文献、URL	Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012) 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT) 2016 TLVs and BEIs. (ACGIH) http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php JIS Z 7253 (2012年) JIS Z 7252 (2014年) 2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会) Supplier's data/information GESTIS-Stoffdatenbank Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)
改訂履歴	2003年10月28日 2020年1月15日
記載内容の問合せ先	倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。